

春



生活介護のご利用者の皆さんによる制作作品です。

あゆみの里のシンボルマークをお花紙や不織布を使って貼り絵にしました。

この春、皆さんの新たなスタートを優しく見守ってくださることでしょう。





「接遇・マナー」の研修を行いました!!

マナーとはホスピタリティーを形にしたものである

ホスピタリティー
= 相手を思う気持ち



形にする = 表現する

形にしないと相手に伝わらない



2月16日(土)に、職員対象の法人研修を行いました。島根県社会福祉士会・阪田健嗣氏を講師に、「接遇～支援者に求められるスキル～」について学びました。支援者としての心構えや、接遇に求められる視点など、自分の支援を見直す機会となりました。今後の支援に生かしたいと思います。

第一印象はとっても
大切ですね!!

研修に参加してみて！

私はヘルパーとしてご利用者のお宅を訪問しています。研修に参加して、自分の訪問に満足していただいているだろうか考える機会となりました。相手を大切に思うことをかたちにして笑顔を引き出せるヘルパーになりたいと思います。



多くの「気づき」をいただきました。特に『「待つ」と「待たせる」の違い』についてのお話が心に響きました。待たせる時間よりも、待つ時間がずっと長く感じるということ。さらに、利用者についていってしまう「ちょっと待って」を、「今～しているので、終わったら行きます。ちょっと待ってくださいね」と言い換える。漠然とお待たせするのではなく、待っていただく理由を明確に説明すると、安心感が全然違う。実践します。

「自分たちの提供できるサービスが、相手にわかるように説明できますか。」講師の問いかけにドキリ。伝わらなければ、「選択・決定」することができないですね。基本がおさえられていなかった自分を見てしまいました。自己満足で終わらないように、ご利用者の視点を大切にしていきたいと思います。



「第一印象は大切」 人の内面は自然に表れると思います。言葉遣いも同じです。歳を重ねると更に注意しなければと感じました。職員一人の何気ない言動、言葉が施設全体の印象となってしまいます。改めて肝に銘じました。





～虐待防止・権利擁護研修会に参加して～

「虐待は日々の支援の積み重ねのうえにでてくる!」「虐待はある日突然にはおこらない」講師の方が言われたこの言葉が私の中で印象に残った言葉です。私は利用者の方を支援するにあたり、職員がチームとなり、その方にとってどのような支援が必要かを相談しながら日々仕事をしています。そのチームとしての機能が働いていれば虐待は起こらないのではないかと思います。職員のコミュニケーション不足等により、日々の不適切な支援が虐待の芽となり、隠蔽や放置することによって、少しずつ大きくなり虐待になってしまうのです。職員一人ひとり困っていることや苦しいことを職員同士言い合える、相談できる職場環境を作ることも私の役割なのだと感じました。残念ながら、今年2月に、この島根県でも虐待で事業所職員が逮捕されるという悲しい事件が起こりました。虐待を他人事とせず、いつ、どこの施設においても起こり得ることだと思いました。意識することが大切だと感じました。

日々の支援を丁寧に、関係機関が密に連携し、そのネットワークを生かして虐待の芽を作らない施設にしていきたいと思っています。

あゆみの里就労継続支援B型事業所

サービス管理責任者 笹川理英子



【職員紹介】

厨房職員

勝山 博 かつやま ひろし



前職は老人ホームで20年間、働いていました。その経験を活かして、安全でおいしいものを作っていきたいと思っています。

総務職員

河野 恵 こうの めぐみ



12月より総務に入りました。日々、色々なことを学んでいき、精一杯つとめさせていただきます。よろしくお願いいたします。

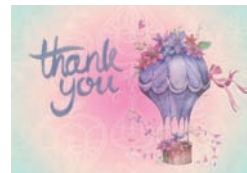
就労継続支援B型職員

隅田 達也 すみだ たつや



はじめまして、隅田達也と申します。一生懸命、頑張りますので、よろしくお願いいたします。

こもればボランティア様 いつもありがとうございます。



就労継続支援B型 レインボーハウス、たんぽぽでは、こもればボランティアさんに、月に2回仕事のお手伝いとして参加して頂いています。利用者さんと一緒に仕事をする事で、日頃、利用者さんがどんな仕事をしているのかなど、日常の様子や、趣味、悩みなどを話題にして、コミュニケーションを取りながら、お手伝いをしてくださっています。年末には、一緒に交流会にも参加して頂いています。交流会では、ボランティアさんが昼食を作ってくださいます。こもればさんが作る料理は、毎回大好評です。たんぽぽでは、毎年七草粥を作る事が恒例になっています。七草の食材が入った七草粥は、おかわりをする利用者さんも多く、大変楽しみになっています。

今後共よろしくお願いします。



こもればボランティアさん作
七草粥

今年もたんぽぽにて、1月8日に七草粥をこもればボランティア職員4名で愛情を込めて作りしました。皆さんも笑顔で美味しいと言って食べてくださいましたので、私たちもとても嬉しかったです。来年も・・・と、今から楽しみにしております。

細谷・俵



利用者の方に、作業の仕方を教えてもらったり、チェックしてもらったり、時には世間話をしたり、共に手を動かすこの時間は、私にとって皆さんとの大切なふれあいのひとときです。

土田 恵美子

ご寄贈・ご協力 ありがとうございました♪

- 地域の皆様（衣類の提供）
- 協力会員の皆様
- 支える会の皆様
- 手芸ボランティアの皆様
- こもればボランティアの皆様（作業お手伝い）
- 地域活動支援センター 利用者様（書籍）
- 廣兼幸夫様（紙オムツ・下着）
- J Aしまね西いわみ様（手作りおやつ）

たんぽぽ プランターのビオラの写真です♪

「あゆみの里発 はっぴー号」は、点字版・朗読CD版・拡大るび版をご用意しています。必要な方はあゆみの里までご連絡ください。

あゆみの里 開館時間
(月)～(金) 8:30～17:30
(土) 8:30～16:00